

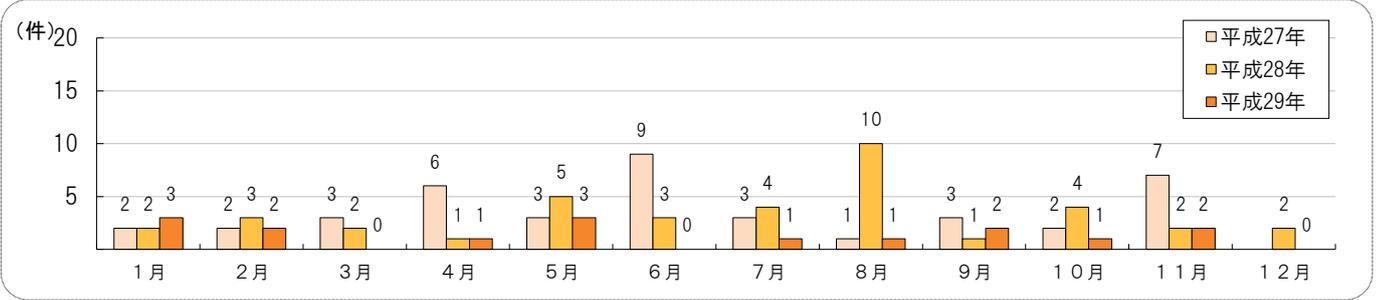
ひ っ た く り

平成29年中

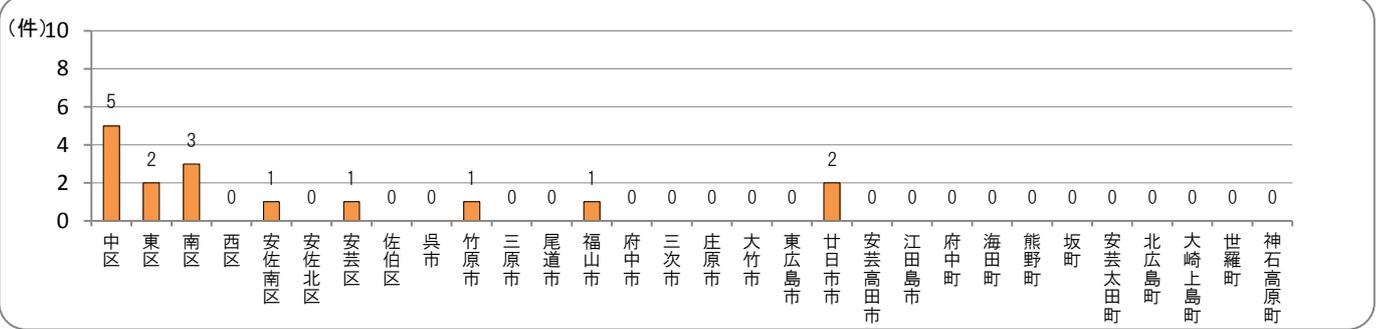


認知件数 16 件
(前年比 -23 件)

月別



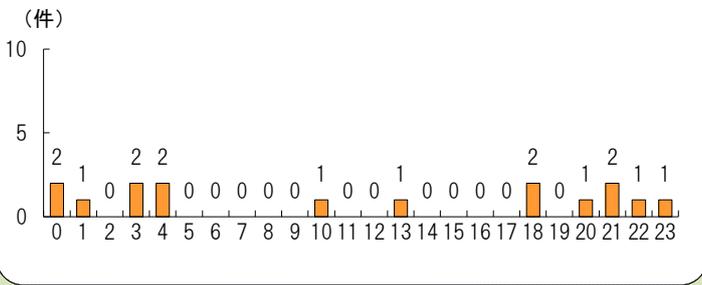
市区町別



発生時間帯

傾向

・夜間に多く発生しているが、日中の発生も。



対策

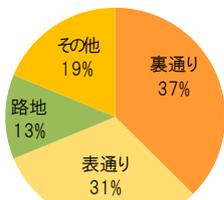
■犯人のターゲットになりやすい夜間には、十分に周囲の警戒を!



被害場所の状況

傾向

・5割が裏通りや路地など目に付きにくい場所で発生



対策

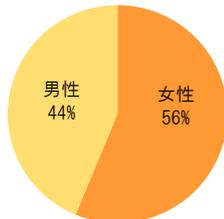
■暗く人通りの少ない道を選び、明るく人通りの多い道の通行を。



被害者の性別

傾向

・女性だけでなく、男性が被害に遭うケースも。



対策

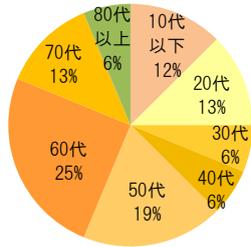
■男性も「自分は大丈夫」と思わず、防犯意識の保持を。



被害者の年代

傾向

・どの世代も被害に遭う可能性あり



対策

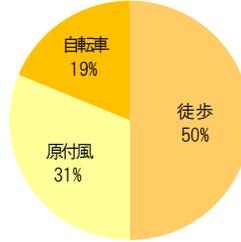
■自分は大丈夫だと油断せず、若い人も高齢者も防犯意識を持って。



犯人の乗り物

傾向

・発生の5割が徒歩



対策

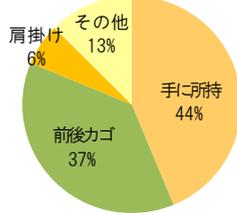
■スマホに夢中になったり、ヘッドフォンで音楽を聴いていると、周囲への注意がおろそかになるので注意！



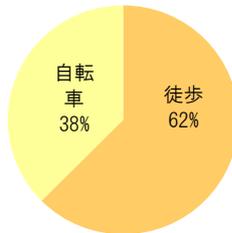
バッグなどの所持状況／被害者の交通手段

傾向

・自転車のかごやバッグを手に持っているときの被害が約8割



・歩行中の人が約7割



対策

■徒歩の場合、バッグの所持は車道の反対側に。
 (「たすき掛け」も効果あり)
 ■自転車乗車中に被害に遭うケースもあります。
 自転車のカゴには、「ひったくり防止ネット」の設置を。



たすき掛け



「歩きスマホ」にはリスクがいっぱい！

スマートフォンを使用しながら歩いたり、自転車や自動車を運転したりすると、ひったくりだけでなく、強盗やちかんの被害に遭ったり、車や自転車、他の歩行者に衝突する危険もあります。

事件や事故に遭わないために、「歩きスマホ」はやめ、身のまわりに潜んでいる危険への注意をはらいましょう。

NG



盗まれにくくするためのアイテム(例)

防止ネットやカバーがないときは、荷物の上に雑誌でフタをするなどの工夫を！



ひったくり防止ネット



雑誌・衣類など



ひったくり防止カバー

※掲載されている数値は暫定数値です。